

東山バス運営協議会の取組について

東山バス運営協議会

1. 令和 2 年度 1 2 月末までの取組

①支援会員の募集（1,000 円/1 口）

1 1 1 名 1 2 5 口（4 月現在）

②協議会会合

令和 2 年度総会（書面）、月度定例会（月 1 回程度開催）、役員会（随時）

③ 1 区間 1 0 0 円運賃導入実験の実施（平成 27 年 7 月～）

利用者の増加を図るため、継続して実施。

④停留所基材の更新

必要に応じて実施。

⑤停留所周辺の美化

停留所付近の草刈等の実施。

春には菜の花を、夏にはひまわりや彼岸花を植えた。

⑥印刷物の作成及び広報活動

- ・やまびこ通信の発行（東山地域へ各戸配布）

運行事業者による新型コロナウイルス感染症対策と利用者への予防注意喚起を掲載。

- ・パンフレットの配布（東山地域のみではなく路線沿線校区にも配布）

- ・バス停に設置した情報 B O X でパンフレット等を配布

⑦自治会に協力頂いて敬老会で 7 5 歳以上の方に、やまびこ号の回数券を配布

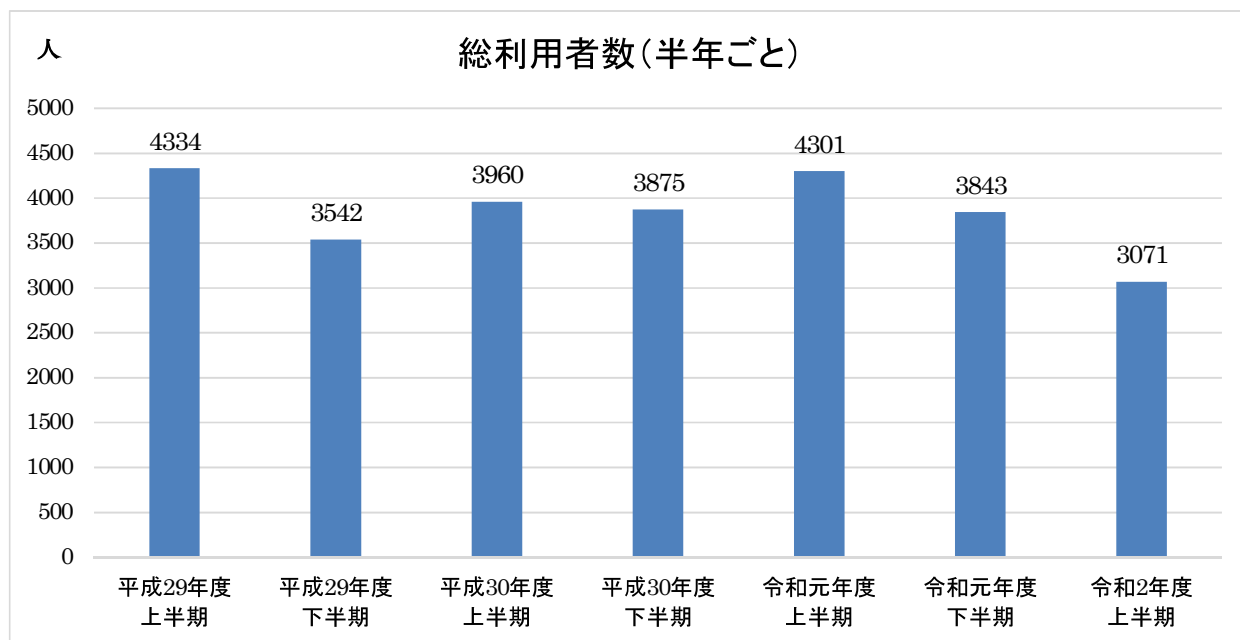
敬老会の方 1 9 0 名に、1,2 0 0 円分（6 回乗車券）を配布した。

⑧シルバークラブに協力頂いて「やまびこ号 on ミニツアーリスト」として、補助金を交付

やまびこ号を利用して出かけた方 1 名につき、1,0 0 0 円分の補助金を 1 0 月から交付。

3 1 名の利用（乗車数 6 2 回）があった（1 月現在）。

2. 利用者数の推移



3. 令和3年度の利用促進について

- ・沿線地域の方々との更なる連携をとることで安定した利用者の確保を図る。
- ・それぞれの時期に応じてイベントやキャンペーンを実施していく。
- ・「やまびこ通信」の発行を通じて、運行内容の周知など更なる利用促進を図る。
- ・やまびこ号を利用し、柿狩りツアーの実施を行う。東部やまびこ号と北部柿の里バスを乗り継いで実施。

石巻・下条地域交通推進委員会の取組について

石巻・下条地域交通推進委員会

1 令和2年度の取組及び実施結果について

(1) 「柿の里バス」支援会員募集

石巻・嵩山・西郷・玉川・賀茂・下条・鷹丘の各校区の人たちに「柿の里バス」の実情を説明してバス利用を進めると同時に、支援をお願いしている。

【会 費】1口 1,000円

【会員特典】申し込み1口につき「柿の里バスポート引換券（引換有効期間：令和3年3月31日）」1枚を交付

【申 込 数】14口（1月末現在）

(2) 推進委員会等の開催

開催回数13回（うち、総会1回（書面開催）、推進委員会6回（2回は書面送付）、委員会3回、小員会1回、役員会2回）

(3) キャンペーン等のイベント実施

① ありがとうキャンペーン

【実施期間】令和2年11月2日（月）～12月28日（月）（景品の引換は令和3年2月26日（金）まで）

【内 容】1回の乗車につき、キャンペーンカードを1枚進呈。8枚で景品と交換。

【交 換 数】77個（1月末現在）

(4) 「柿の里バスニュース」の発行

キャンペーンの情報や運行ダイヤ等を記載した、「柿の里バスニュース」を回覧。

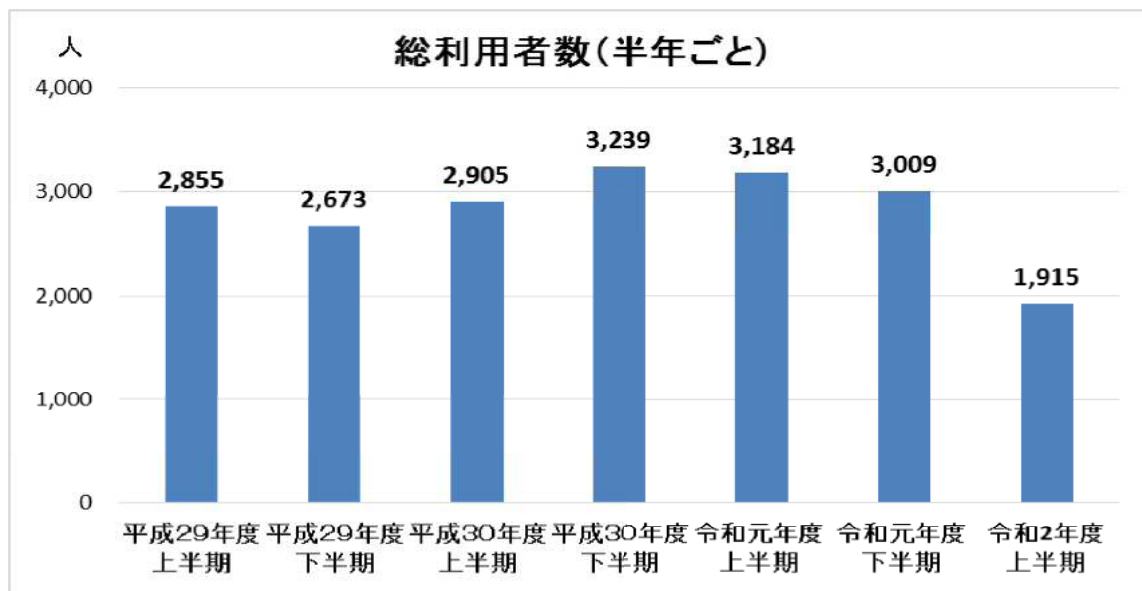
【対象校区】石巻・嵩山・西郷・玉川・賀茂・下条・鷹丘の7校区

【実施期間】令和2年4月～令和2年12月で9回 通算101号まで発行。

(5) 車両に掲載する有料広告の募集

自主財源の確保、地元企業のイメージアップ及び地域経済の活性化のため、有料広告を募集しており、新規広告を1件獲得した。

2 利用者数の推移



3 今後の利用促進について

(1) 支援会員の募集

引き続き沿線校区の人たちへ支援を依頼。

(2) 利用促進イベント・キャンペーンの実施

新規利用者の確保を目的としたキャンペーンの実施を検討。

(3) 柿の里バスニュースの継続的な発行

それぞれの時期に応じたお出かけプランや利用促進イベントの告知など、柿の里バスに関する情報を掲載した柿の里バスニュースの作成・配布を通じて更なる利用促進を実施。

(4) 柿の里バスのPRの強化

柿の里バスを多くの方に利用してもらうため、バス停の場所や路線の周知を重点的に実施。

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に対応するため、交通事業者が行っている感染症拡大防止の取組みを周知して、沿線住民のみなさんに安心安全に乗車できることを知ってもらうことや、利用促進を行うことで利用客の回復を図る。

表浜地域公共交通推進委員会の取り組みについて

表浜地域公共交通推進委員会

1. 令和2年度の取り組み及び実施結果

(1) 利用促進の取り組み

- ①「愛のりくん」通信の発行（8月、1月、広報とよはし配布に併せ全戸配布）
交通事業者による、新型コロナ感染予防対策と利用者への予防注意喚起を掲載し、地域内全戸に配布した。

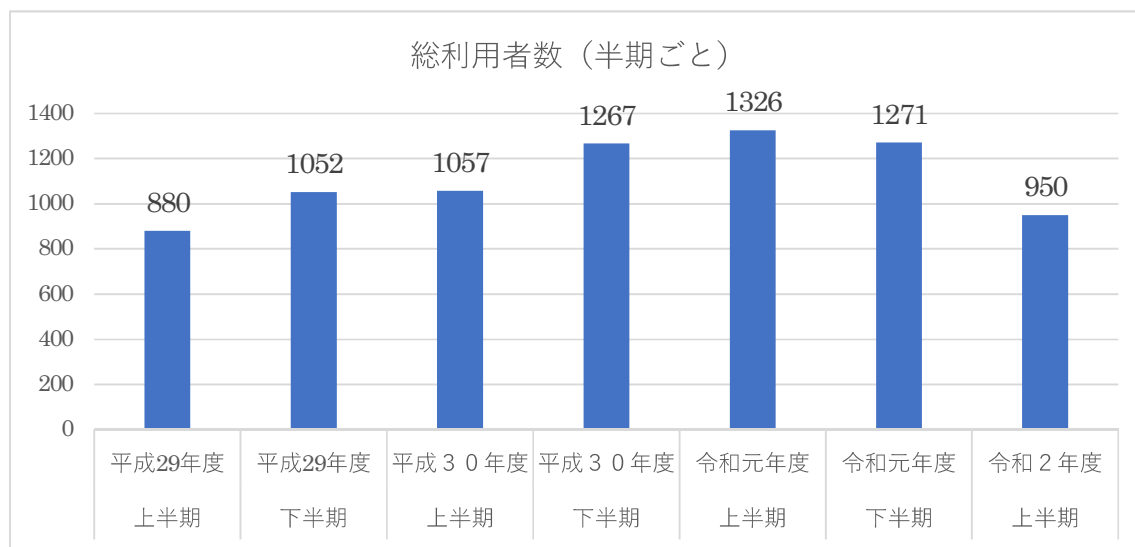
又、地域内の中学生が道の駅販売体験学習に「愛のりくん」を利用した事例を紹介。

- ② 推進委員会役員会での意見交換、民生委員会へ参加し、情報提供を行った。

(2) のりば設備等の維持・管理

- ①のりば名表示板、時刻表の剥がれや、劣化状況を点検し、修繕を実施した。

2. 過去3年の利用者数の推移について



- (1) 微増傾向で推移して来たが、コロナ禍により令和元年度下半期より減少傾向にある。

- (2) 利用目的は、通院・日用品の買い物が大半である。

3. 令和3年度利用促進の取り組み計画

- (1) 地域の民生委員会、老人クラブ役員会、高齢者セミナー等に参加し意見交換をする。
(2) 利用状況、利用者の声等を掲載した「愛のりくん通信」を年間3回発行する。
(3) のりば設備の点検と修繕を行う。
(4) 利用者の利便性を向上するため、運営委員会にて要望事項等を検討する。

しおかぜバス運営協議会の取組について

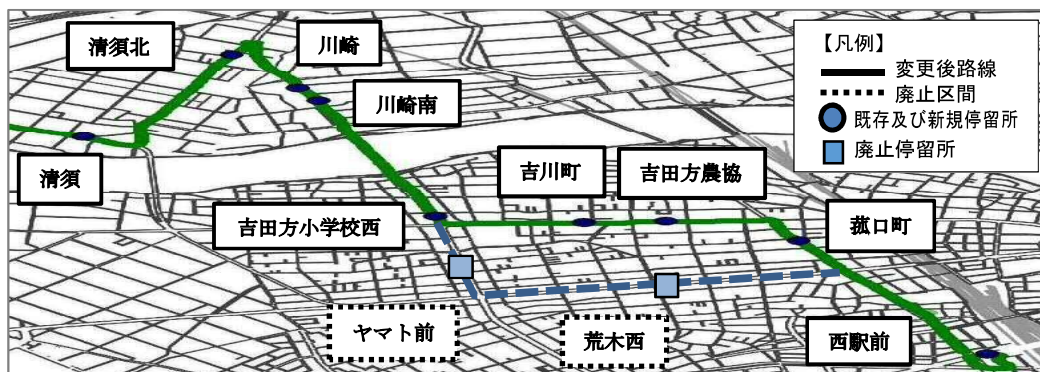
しおかぜバス運営協議会

1 令和2年度の取組及び実施結果について

(1) 運行経路の変更

沿線のスーパーヤマトの閉店による買物困難者の発生を防ぐため、しおかぜバスの利用状況等に係るアンケートを実施。

特に需要が見込まれた、農協・フィール等のスーパー、病院がある菰口町方面を経由した運行経路に見直ししながら新たにバス停の新設を行った。



令和2年度8月3日～令和2年度12月28日までの利用者数

「菰口町」バス停 3.3人/日 「吉田方農協」バス停 1.3人/日

【参考】「ヤマト前」3.3人/日が利用（令和元年度平均）

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の取組

運行事業者による感染症対策及び利用客へのマスク着用の呼びかけ等を実施し、しおかぜバス運営協議会と地元自治会を通して感染症対策の啓発を行うことで、利用者に安心してしおかぜバスを利用していただくように取り組んでいる。

【感染症対策の取組み例】

①車内の消毒作業



②車内の換気



③バスニュースを活用した地域住民への啓発

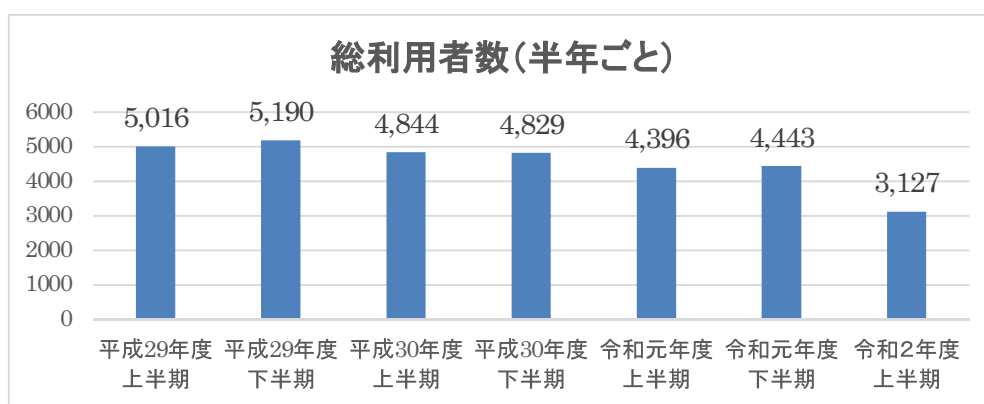


(3) しおかぜバスニュース No. 19～No. 20 号の発刊

19 号では、令和 2 年 8 月 1 日に行われた運行経路の変更について、新たな路線図や運賃表、時刻表等を掲載し全戸に配布した。また、20 号では新型コロナウイルス感染症対策の周知、新たな経路に新設されたバス停について、沿線施設を紹介する内容等を掲載し、利用促進への啓発を行った。

【配布校区】前芝校区・津田校区（清須町、川崎町）

2 利用者数の推移



3 令和 3 年度の利用促進について

- ・ しおかぜバスニュースの継続発行
- ・ 令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった、豊橋まつり臨時運行便の令和 3 年度実施
- ・ しおかぜバス 7 万人達成キャンペーンの実施
- ・ 自治会や老親クラブ等の会合をとらえ、しおかぜバス利用促進への啓発を継続的に実施する。

かわきたバス運営委員会の取組について

かわきたバス運営委員会

1 令和 2 年度の取組及び実施結果について

(1) 運営委員会の開催状況

開催回数 9 回（うち、総会 1 回（書面開催）、運営委員会 8 回（3 回は書面送付））月に 1 回程度、開催した。

(2) 「スマイル号通信」の発行

下地・津田・大村校区に、利用促進依頼やイベント情報等を記載した「スマイル号通信」を回覧

【対象校区】 下地・津田・大村

【実施期間】 令和 2 年 4 月～令和 2 年 12 月に 9 回発行、通算 56 号まで発行

(3) 利用促進キャンペーンの実施

【目的】 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少の減少に対応するため、回数券の割引販売を実施し、かわきたバスの利用促進及び新規利用者の発掘を図った。

【概要】 2,000 円と 2,500 円の回数券をそれぞれ 500 円割引で販売し、かわきたバス運営委員会が 500 円を負担する。

【実施期間】 令和 3 年 10 月～11 月

【実施結果】 2,000 円回数券販売枚数 78 枚、2,500 円回数券販売枚数 8 枚

(4) マスク配布キャンペーンの実施

【目的】 新型コロナウイルス感染症の感染対策をした利用客への感謝と安全・安心に乗車できるようマスクを配布した。

【概要】 運営委員会で購入したマスクにメッセージシールを貼り、1 乗車につき 1 人 1 枚マスクを配布した。

【実施期間】 令和 2 年 12 月～令和 3 年 1 月

【実施結果】 配布枚数 400 枚

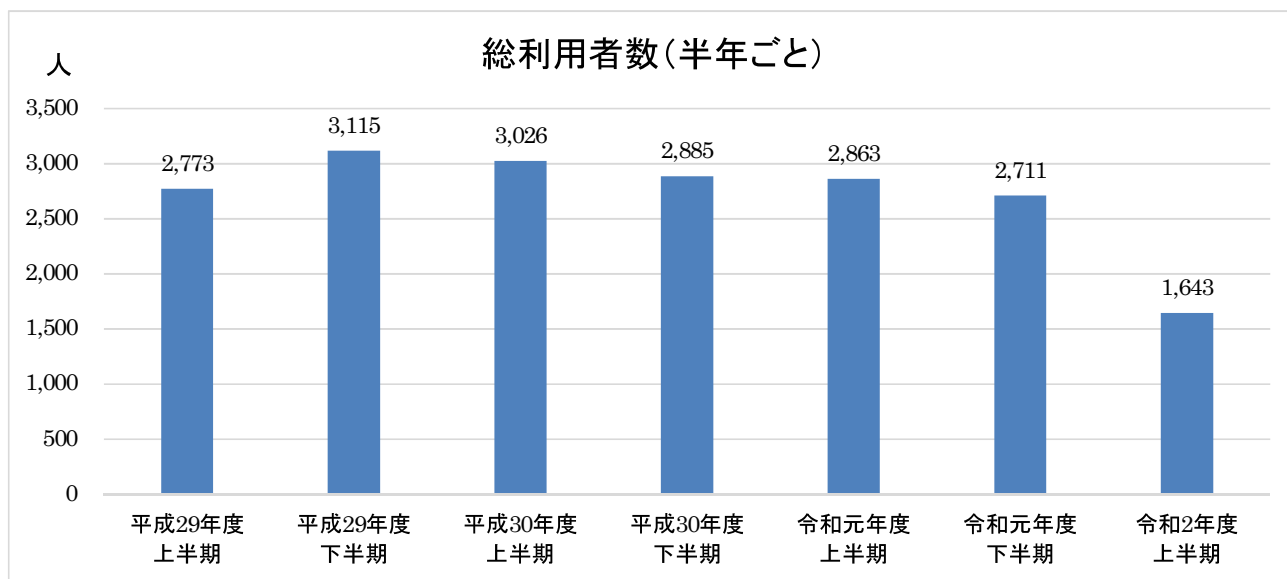
(5) 夏休み小学生 50 円バス実施に伴う小学生の乗車運賃無料キャンペーンの実施

（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

(6) イベントの実施（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

(7) 「スマイル号を支える会」集会の実施（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

2 利用者数の推移



3 今後の利用促進について

(1) 年間利用者数 6,000 人、月平均 500 人以上を目標として、前年度までの活動を継続して実施する。

- ①毎月 1 回の運営委員会を開催する。利用状況の確認や対策等について話し合う。
- ②スマイル号通信の月 1 回の発行 スマイル号の魅力や便利さなどを伝える。
- ③25,000 人達成イベント等の特別企画を実施する。
- ④新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に対応するため、交通事業者が行っている感染症拡大防止の取組みを周知して、沿線住民のみなさんに安心安全に乗車できることを知ってもらうことや、利用促進を行うことで利用客の回復を図る。

(2) 地域の活動と連携し、コミュニティバスとしての意義や地域活性化のために努力する。

- ①3 校区の老人クラブの活動の場に積極的に参加して、スマイル号について伝える。
- ②スマイル号の継続と発展のために、3 校区の自治会活動との連携を図る。

(3) 路線や時刻表の見直し・検討

スマイル号が地域の住民にとってより有効な交通手段となるために、路線や時刻表等について絶えず検討していく。

新型コロナウイルス感染症拡大による市内公共交通事業者の現状について

《市内公共交通事業者の現状》

【豊橋鉄道株式会社】渥美線・市内線

今回のコロナ禍の影響は昨年 3 月から顕著となり、令和元年度は最終の 3 月の影響のみで鉄道・軌道合計で営業利益が 9 年振りに赤字となりました。今年度は秋口には小康状態になったものの、春と冬の 2 度にわたる緊急事態宣言の発出に象徴される三度にわたる感染拡大の波によって業績は非常に厳しく 1 月時点であっても運賃収入は前年度の 65%程度で推移しており、鉄道・軌道事業については固定費が 9 割前後であることから、今年度は全業で赤字が確定、令和 3 年度も非常に厳しくなることが予想されます。

そのため、投資抑制や経費削減を進める中で更なる経費削減のため、ダイヤ改正（削減）の検討に入りましたので、ご理解頂きたく、お願いいたします。

また、渥美線・市内線とも多くの豊橋市民のお客様が必要とされている使命がありますので、何卒、持続可能な策と一緒に考えて頂きたく、重ねてお願い申し上げます。

【豊鉄バス株式会社】路線バス

今年度は、年間を通じてコロナの影響を受け、赤字が見込まれます。緊急事態宣言、学校休校措置による利用者の減少により、4/20～5 月末まで休日ダイヤで運行し、（平日の 8 割弱の本数）、4～5 月の利用者は 5 割近く減少しました。6 月は 8 割弱まで回復（休日ダイヤレベル）しましたが、地域イベント・学校行事・競技大会等はほぼすべて中止となり、高齢者を中心とした不要不急の外出制限、大学の遠隔授業、その他テレワークが定着し移動の必要性がなくなる要因が拡大しています。特に夜間（21:30 以降）の利用者は未だ 5～6 割程度で減少が著しく、回復傾向にあった秋までとは異なり今は再度の緊急事態宣言が発出され、予測を超える状態です。（1 月の収入速報値：前年比 定期 88%、定期外 63%、合計 71%）路線バス事業の特性として高速路線（新城名古屋線を除き新宿・京都線運休）や一部採算路線が不採算路線をカバーしているのがこれまでの基本構図ですが、赤字幅が許容範囲を超え回復が見込めない場合には、運行回数の見直し等が必要となります。

【東海交通株式会社】 タクシー

現在のタクシー業界についての概況

昨年春より、コロナ禍による人の移動が制限されている事により、タクシー業界も影響を受け、昨年5月（GW期）に通常月の30%台まで落ち込み、その後8月（盆期）に再度落ち込みが有るものの、徐々に回復に向かっておりましたが、冬期繁忙期前の感染者の増加に伴い、利用者の減少が出始めて現在は40%台まで落ち込んでいます。コロナ禍による影響は1年近く続いておりますが、昨年は自助努力で通常経営を継続させてまいりましたが、年間の最大繁忙期でもあり、利益を出さなくてはならない12月1月期での売上高40%台は従来通りの通常営業を続けて行く事が困難な状況になって来ております。

我々の事業は一般的な産業と違って、公共交通機関でもありエッセンシャルワーカーでもある為、簡単に日常運営規模を縮小させて、事業継続させるなどという、安易な行動を取る訳にもまいりません。

タクシーは、コロナ感染率の低い移動手段であり、高齢者/障害者の移動の足として、また、緊急時の移動手段として、公共交通としての社会的役割を果たす為にも、皆さまの支援をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

【豊鉄タクシー株式会社】 タクシー

新型コロナウイルス感染が落ち着きを見せていた10月の実績につきましては、対前年約65%と回復基調でありました。しかし、新型コロナウイルス感染第3波による11月下旬から年末年始を含む「厳重警戒」・1月以降の「緊急事態宣言」発令による外出自粛ならびに飲食店の時短営業・休業によって、11月から1月の実績は対前年約30%から50%と非常に大きく減少しております。現在は、タクシー車両の台数を調整することで対応しておりますが、「緊急事態宣言」が3月7日まで継続されたこともあり、大変厳しい状況が続いております。

令和3年度公共交通関係予算について

資料 6

※◎新規事業、○継続事業

事業名	事業内容	予算額（千円）
○路線バス等運転士確保支援事業	○定住外国人向け 路線バス等の運転士として就労を希望する定住外国人に対して、事業者とのマッチング支援などを実施	1,392
	◎就職氷河期世代向け 就職氷河期世代に対して、路線バス等の運転士への就労を支援する面接対策等を実施	486
◎新たな日常での公共交通利用促進事業ウォーキングイベント	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復を図るため、路面電車の電停、鉄道の駅、バス停を起点としたウォーキングイベントを実施	1,100
◎渥美線高師駅サイクル&ライド駐輪場整備事業費補助金	渥美線と自転車の乗換機能を強化するため、サイクル&ライド駐輪場の整備に対して助成	1,050
○ユニバーサルデザインタクシー導入補助金	快適に移動できる環境を整備するため、ユニバーサルデザインタクシーを導入するタクシー事業者に対して助成	1,200
○高齢者移動支援事業 ○障害者社会参加促進事業 (福祉部所管予算)	市民税非課税世帯の高齢者等に対して公共交通機関の利用について助成	130,360 (長寿 50,359 障害 80,001)
○市内線単路部軌道敷改修事業費補助金	路面電車を安全・安心・快適に利用できる環境を整備するため、軌道敷の改修に対して助成	14,700
○「地域生活」バス・タクシー運行事業	・本格運行を継続 東部地区、北部地区、南部地区、前芝地区、川北地区	37,311